

リオオリンピックが始まります。



8月5日から8月21日までの日程で、リオオリンピックが開催されます。日本選手団の活躍が期待されます。もちろん、ここはアメリカです。同時にアメリカ選手団も応援しています。選手にとっては、4年に1度の世界最高の舞台です。結果も大切ですが、大会出場のに向けた努力が、遺憾なく発揮されることを望みます。また、オリンピックは平和の祭典でもあります。世界中の一流の選手たちが、お互いの技術を競い、国境を越えて、お互いを讃えあうことができる大会です。お互いを認め合うことが「心に平和の砦」を築くためには、大切です。子どもたちにも、各選手たちがこの大会に向けて、国を背負い頑張る姿、また出場に向けた努力を感じてくれることを望みます。でも、日本とアメリカが試合をすることになったら、嬉しい反面、どちらを応援するか迷いますね。その時は、好きな選手を応援しましょう。無理して、どちらか一つを選ぶことなんか必要ないのですから。これから先も、平和の祭典としてのオリンピックが開催されることを望みます。できれば、全世界が参加できるような平和時代になってほしいものです。2020年には、東京オリンピックが開催されます。もしかしたら、本校の子供たちが活躍しているかもしれません。そうすると良いですね。

平和について

8月は、日本人にとって、広島や長崎への原爆投下や、終戦記念日、お盆などがあり、なんとなく平和について考えさせられる月です。先週、小高部で「平和教育」を行いました。今週は、小中部や中学部で行わせていただきます。日本やハワイにいと、比較的平和な状態が日常化しており、「平和のありがたさ」を忘れがちです。戦時中、日本でもここハワイでも、沢山の尊い命が奪われました。先人たちの尊い犠牲の上に、現在の平和な状態が築かれたことを忘れてはいけません。戦争は、国と国の争いで、しばしば個人の感情が無視されます。しかし、日米双方、当時の個人レベルでは、愛する家族や仲間にとって平和な世界が築かれるように自分を犠牲にしていた思いは同じだったのです。今を生きる我々は、この人たちの思いを大切に平和な社会の実現に努力していかなければいけないと強く感じています。戦争で亡くなった方の思いを紹介します。



私たちは、立派な恒久的な平和を作らねばならないことはわかっており、そのためにアメリカが戦後の世界再建の事業における自分の仕事を引き受けるべきなのだ。私たちは、覚悟を決めなければならない・・・この戦争をわれわれの持てる力の限り出し尽くして戦い抜くことを。

エリック・ナイト アメリカ人 1943年戦死

なつかしい静ちゃん！おわかれの時がきました。兄ちゃんはいよいよ出げきします。この手紙がとどくころは、沖なは(縄)の海に散つてゐます。思ひがけない父、母の死で、幼ない静ちゃんを一人のこしていくのは、とてもかなしいのですが、ゆるして下さい。

兄ちゃんのかたみとして静ちゃんの名であづけてみたいというびん(郵便)通帳とハンコ、これは静ちゃんが女学校に上るときにつかつて下さい。時計と軍刀も送ります。これも木下のをぢさんにたのんで、売つてお金にかへなさい。

兄ちゃんのかたみなどより、これからの静ちゃんの人生のほうが大じなのです。もうプロペラがまはつてゐます。さあ、出げきです。では兄ちゃんを征きます。泣くなよ静ちゃん。がんばれ！

大石 清 特攻隊員 遺書

運動会プログラムの表紙絵を募集します。

学校では、の運動会プログラムの表紙絵を募集しています。提出締め切りが8月20日(土)となっています。ぜひチャレンジするように、お勧めください。